



平成30年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月1日
上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治
兼管理本部長
兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成30年10月3日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第3四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	20,180	△2.8	947	△30.0	1,169	△23.2	744	△61.4
29年11月期第3四半期	20,760	1.9	1,354	△7.6	1,521	5.2	1,931	55.0

(注) 包括利益 30年11月期第3四半期 672百万円(△79.4%) 29年11月期第3四半期 3,270百万円(885.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	34.04	—
29年11月期第3四半期	87.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第3四半期	39,300	21,559	54.2
29年11月期	39,953	21,273	52.6

(参考) 自己資本 30年11月期第3四半期 21,293百万円 29年11月期 21,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	5.00	—	14.00	19.00
30年11月期	—	6.00	—	—	—
30年11月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,900	△5.2	1,250	△29.5	1,450	△28.5	1,000	△55.7	45.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年11月期3Q	22,167,211株	29年11月期	22,167,211株
30年11月期3Q	226,454株	29年11月期	334,801株
30年11月期3Q	21,880,421株	29年11月期3Q	22,053,831株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(30年11月期第3四半期 189,900株、29年11月期 298,500株、29年11月期第3四半期 323,700株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けております。また、海外経済は緩やかな成長が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年度から平成31年度までの3か年を対象として策定した「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」に基づき、各事業の特性に応じた施策の実施に努めました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高20,180百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は産業用機能フィルター・コンベア事業および電子部材・フォトマスク事業の利益率低下の影響により947百万円（前年同期比30.0%減）となりました。経常利益は主に持分法による投資利益の減少により1,169百万円（前年同期比23.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に繰延税金資産を計上した影響で法人税等が増加した結果、744百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は、以下の分野で構成されております。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他産業用フィルター・コンベア分野	「ふるい分け」・「ろ過」・「搬送」用の工業用金網の製造・販売
高機能吸着剤分野	金属吸着カートリッジフィルター・におい吸着繊維の開発・販売

製紙製品分野では、国内売上高は前年同期並みとなりました。また、海外売上高は前年同期と比べ出荷数量、金額とも増加いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、前年同期と比べ食品業界向けを中心としたコンベアベルトの販売が減少いたしました。主に苛性ソーダ生成用金網と海外向け原材料の販売が増加したため、売上高が増加いたしました。

高機能吸着剤分野の売上高は前年同期並みとなりました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は13,700百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は売上構成の変化による利益率の低下と退職給付費用などの費用の増加により1,091百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は、以下の分野で構成されております。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体・ディスプレイ・プリント基板・MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターンニングの原版となるフォトマスクの製造・販売
太陽光発電システム設備販売分野	太陽光発電部材の販売、太陽光発電システム設備の販売

エッチング加工製品分野では、前年同期と比べ主に大型・中型タッチパネル製品の加工料収入の割合が増えたため、売上高が減少いたしました。利益は原価低減の影響で増加いたしました。

フォトマスク製品分野では、前年同期と比べ生産および出荷数量が減少したため、売上高および利益が減少いたしました。

太陽光発電システム設備販売分野では、前年同期と比べ完成引き渡し数が減少したため、売上高が減少いたしました。また、大型案件の採算が悪化したため、利益が大きく減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,444百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は253百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、以下の事業で構成されております。

アクア事業	プール・ろ過装置の設計・販売
プロダクト事業	防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売

アクア事業では、前年同期と比べ主に受注金額の高い案件の完成引き渡し数が減少したため、売上が減少いたしました。

プロダクト事業では、防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)が、漁港案件で採用されたため、売上が前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,251百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は5百万円（前年同期比92.5%減）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、当社が保有する不動産を、店舗・マンション・駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は784百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は588百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

(注) 各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異991百万円（前年同期比6.6%減）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ683百万円減少し、17,981百万円となりました。これは主として、現金及び預金が256百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が475百万円、仕掛品が606百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、21,319百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が229百万円、土地が51百万円、のれんが76百万円それぞれ減少した一方で、有形固定資産のその他に含まれております建設仮勘定が321百万円、投資その他の資産のその他が73百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ652百万円減少し、39,300百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ430百万円減少し、11,741百万円となりました。これは主として、短期借入金が878百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が446百万円、その他が839百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ507百万円減少し、6,000百万円となりました。これは主として、長期借入金が511百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ938百万円減少し、17,741百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ285百万円増加し、21,559百万円となりました。これは主として、利益剰余金が302百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により744百万円の増加、剰余金の配当により442百万円の減少）増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月期の連結業績予想につきましては、平成30年1月10日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,054,894	4,311,366
受取手形及び売掛金	7,946,429	7,470,887
商品及び製品	3,202,850	3,257,123
仕掛品	1,622,955	1,016,053
原材料及び貯蔵品	1,255,305	1,279,716
その他	634,879	690,410
貸倒引当金	△52,853	△44,216
流動資産合計	18,664,462	17,981,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,545,095	5,315,751
機械装置及び運搬具(純額)	2,602,008	2,579,755
土地	4,258,767	4,207,417
その他(純額)	659,206	1,001,881
有形固定資産合計	13,065,077	13,104,806
無形固定資産		
のれん	531,582	455,365
その他	417,613	407,573
無形固定資産合計	949,196	862,939
投資その他の資産		
投資有価証券	4,350,104	4,369,482
リース投資資産	507,434	491,827
その他	2,423,397	2,496,657
貸倒引当金	△6,061	△6,095
投資その他の資産合計	7,274,875	7,351,872
固定資産合計	21,289,149	21,319,617
資産合計	39,953,611	39,300,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,081,148	3,634,646
短期借入金	3,334,919	4,213,395
1年内返済予定の長期借入金	1,613,495	1,366,141
未払法人税等	222,179	179,379
賞与引当金	59,907	327,268
その他	2,860,464	2,020,675
流動負債合計	12,172,114	11,741,506
固定負債		
長期借入金	3,689,782	3,178,699
退職給付に係る負債	195,244	204,489
環境対策引当金	116,180	116,180
長期預り敷金保証金	1,319,408	1,245,861
資産除去債務	103,711	103,873
その他	1,083,263	1,151,017
固定負債合計	6,507,589	6,000,121
負債合計	18,679,704	17,741,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	14,677,058	14,979,197
自己株式	△207,804	△142,808
株主資本合計	19,067,160	19,434,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,067,108	1,115,598
繰延ヘッジ損益	2,299	△1,226
為替換算調整勘定	348,467	163,393
退職給付に係る調整累計額	533,055	581,409
その他の包括利益累計額合計	1,950,930	1,859,174
非支配株主持分	255,816	265,860
純資産合計	21,273,907	21,559,331
負債純資産合計	39,953,611	39,300,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	20,760,999	20,180,923
売上原価	13,406,811	13,308,770
売上総利益	7,354,188	6,872,152
販売費及び一般管理費	6,000,166	5,924,403
営業利益	1,354,021	947,749
営業外収益		
受取利息	2,815	7,171
受取配当金	67,143	65,800
持分法による投資利益	217,177	138,381
その他	140,149	114,496
営業外収益合計	427,285	325,850
営業外費用		
支払利息	63,447	58,361
為替差損	80,793	7,985
その他	115,251	38,119
営業外費用合計	259,491	104,466
経常利益	1,521,815	1,169,133
税金等調整前四半期純利益	1,521,815	1,169,133
法人税等	△425,801	406,051
四半期純利益	1,947,617	763,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,869	18,325
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,931,748	744,756

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	1,947,617	763,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318,131	48,489
繰延ヘッジ損益	14,207	△3,525
為替換算調整勘定	762,942	△154,892
退職給付に係る調整額	117,817	48,354
持分法適用会社に対する持分相当額	109,901	△28,917
その他の包括利益合計	1,323,000	△90,492
四半期包括利益	3,270,617	672,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,292,914	652,999
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,296	19,590

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,428,401	5,148,464	1,403,609	780,523	20,760,999	—	20,760,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,753	1,670	753	—	14,176	△14,176	—
計	13,440,154	5,150,134	1,404,362	780,523	20,775,176	△14,176	20,760,999
セグメント利益	1,334,239	421,746	74,471	585,617	2,416,075	△1,062,054	1,354,021

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,062,054千円は、内部取引にかかわる調整額△1,865千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,060,188千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,700,930	4,444,374	1,251,084	784,533	20,180,923	—	20,180,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,611	209	—	1,820	△1,820	—
計	13,700,930	4,445,985	1,251,293	784,533	20,182,743	△1,820	20,180,923
セグメント利益	1,091,966	253,546	5,559	588,612	1,939,684	△991,935	947,749

(注) 1 セグメント利益の調整額△991,935千円は、内部取引にかかわる調整額△125千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△991,810千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。